

## 学校規模適正化・適正配置に関する地域説明会(会議録)

1 日 時 令和7年7月4日(金)、18:30~20:00

2 開催場所 橋野ふれあいセンター

3 参加者 11名

4 事務局

【教育委員会事務局】

高橋勝教育長、川崎浩二教育部長、笹村聡一総務課長

佐々木薫学校規模適正化推進室課長、岩渕勝也学校教育課長

鈴木隆光学校教育課主幹、川崎克総務課長補佐、谷藤太郎学校規模適正化推進室長補佐

【市長部局】

中村達也総務企画部長、佐々木豊市民生活部長、村山明子保健福祉部次長

中平貴之企業立地港湾課長、遠野修正下水道課長

5 経過

(1)開会

(2)教育長あいさつ

【高橋教育長】

本日はお足元の悪い中、そして夕方のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

私からは挨拶に代えて、これまでの経緯をお話させていただきます。

当市では、平成10年以降、少子化が進んで学校を統合しなければならないということで、学校統合を進めてきたところです。現在、小学校9校、中学校5校の14校で学校教育が行われています。ただ、その後の人口減少に伴い、少子化も更に進んでいる状況です。

教育委員会では、学校統合等を含めた学校の適正規模・適正配置がどうあればいいかを検討しなければならない時期だと考え、令和2年度末から令和4年度にかけて、保護者、学校関係者、有識者等で組織する学校規模適正化検討委員会を設置して、これからの当市の子どもたちに期待する姿、どんな子どもたちになってほしいのか、それから、学校はどのような役割を果たしていくべきなのか、小規模校のメリット・デメリット、学校規模の適正化・適正配置をどのように考えていったらいいのか等について協議を行い、令和4年11月には検討委員会から提言書が提出されました。

また、小・中学校、そして未就学児の保護者の皆様にもアンケート調査を実施しております。提言書やアンケート結果を基にしまして、教育委員会では令和5年度に学校規模の適正化・適正配置基本方針(案)を作成しました。この基本方針(案)では、複式学級の解消を行うべきで

はないか、中学校の教科担任の充実を図ることが必要なのではないか、学校の環境の充実、子どもたちの学びの充実を図るためには、手法として学校統合や小中一貫教育を導入すべきではないか、等を示しております。

その後、基本方針(案)について釜石市議会議員全員協議会で説明を行い、また、保護者や市民の皆様を対象とした説明会を行っております。それから、市民の皆様には、教育広報を通じて周知を図りました。

そして、基本方針に従って、更に具体的にどう学校統合を進めていったらいいのか、具体的な推進計画の策定に取り組んできました。推進計画の作成にあたり、新しく推進計画策定委員会を組織し、保護者や学校関係者、有識者の皆様からご意見を聞いて協議を行い、今回、「案」として示させていただきました。また、基本方針を基にしながら、関係する学校の校長先生やPTAの役員の皆様、地域の皆様と協議を行って、ご意見を伺っております。また、市のPTA連合会にも基本方針を説明し、ご意見を頂戴したところです。この4月には、各学校で開催されたPTA総会に担当者が出席し、基本方針について改めて説明を行っております。

本日は推進計画(案)を説明させていただいて、皆様からご意見、ご質問をお伺いしたいと思います。この場ですぐに回答できない部分もあるかと思いますが、その際には検討させていただいて、改めて皆様にご説明させていただきたいと思っております。

それでは、よろしくお願いいたします。

### (3)職員紹介

### (4)説明

(教育委員会事務局から説明)

### (5)意見交換(質疑応答)

#### 【参加者】

基本方針に遡って考えたほうがいいのかという意見があった場合、基本方針を再度検討することはあるのでしょうか。

#### 【教育委員会事務局】

基本方針の小学校の複式学級の解消を目指し、推進計画は進めてまいりたいと考えておりますので、方針自体を遡って見直すということは、今は想定してございません。

方針自体も令和6年3月に策定するに先立って議会や各地区での説明会等で説明してありまして、一旦は、方針はこの通りで進めたいと考えておりました。方針の中でこの部分どうなのかというのがもしございましたら、差支えなければ。

【参加者】

一定規模は必要だという話を何度もされているが、なぜ必要なのか。

大人数でないと、多様な考えとかを学べないというのは、そうなのかなというか、大人数の中で学ぶことが困難な人たちが多かたりする中で、小規模だと多様な価値観とかが失われるみたいなことは、逆なのではないかなと思います。傾向として大きな規模のほうが難しいことが多くて、小規模のほうが丁寧に見てもらっている感覚があります。繰り返し出てきた「一定規模が必要」というが、今の仕組みでできていないのに、またひどくなるんじゃないかという懸念があります。

【高橋教育長】

小規模校、大規模校、どちらもメリット、デメリットが両方あるのはその通りだと思います。その中で釜石市としては、どういう方向でいったらいいのか、いろいろご意見を聞いたところです。検討委員会の提言の中でも、子どもたちがある程度の規模の中で、例えばグループ学習や体育、音楽などをやる時に、人数が少ないとできないことが色々出てくると考えたときには、やはり一定の規模が必要で、ある程度グループ活動ができて、また、固定しないでグループも変えながらできる最小の人数ということで、15人と想定したところです。

当然、統合する云々にかかわらず、一人ひとりの子どもを大事にしていかなければならないということはこれからも十分留意していかなければならないと思っています。

【参加者】

基本方針が出た時点で知ったので、その前の議論の時にパブリックコメントとかで意見を出せばよかったなと思いました。非常にその辺りが自分の中では残念な結果でした。計画を進めていく段階で配慮いただければすごくありがたいなと思います。

【参加者】

計画は令和9年度には鵜住居小に統合ということですが、あと1年半しかないのですけれども、この間で具体的にどんな準備をしていくのか決まっていたら教えてほしいです。

【教育委員会事務局】

統合準備委員会をまず立ち上げて、実際には鵜住居小学校と栗林小学校のエリアの皆さんと話し合いを進めていくことになります。具体的には、着ているジャージをどうするか、スクールバスをどう運行していくのか、PTAの組織をどうするかといったこと。あと、PTAよりは多分学校になるかと思いますが、学校行事や地域との関わりも出てきますので、そういうところについても具体的に話をしていく形になると思います。

【教育委員会事務局】

今年の春、各小中学校のPTA総会で基本方針を説明した時に、放課後の子どもたちの居場所はどうか、あとは各地区での伝統行事、伝統芸能をどうするかという話もありました。例えば、統合後の活動についても地域の皆さんと一緒に話し合いを進めていきたいと思っていました。

【参加者】

今出たのは大人の話だと思うのですが、子どもの交流等もこの1年半でやっていく形ですか。

【教育委員会事務局】

栗林小学校でアンケートをとっていただいたと思いますが、その中で、統合にあたって子どもたちの人間関係に配慮してほしいという声が一番多かったと思います。

統合までの間に、両校での交流活動はもちろん進めていきたいと思っています。あと、統合した場合の先生の配置についても、栗林小学校の先生は何人か鶴住居小学校に異動することも配慮していきたいです。

統合した後も、相談体制等もできるだけ丁寧に進めていきたいと考えています。

【参加者】

こうやって準備して統合した場合、「適正化をしました、はい終わり」ではなくて、アフターケアをしっかりしてほしい。栗林小の先生を配置するとのことですが、いろんな問題が出てくると思うので、そのケアとかも市も一緒にやってもらいたいというのが一番です。

【参加者】

不登校で学校に行けないとかで、越境して他の学校に通えるような小規模特任校制度もあったりするので、ぜひ、釜石市らしい教育をする場所を1つ作ってもいいのではないかなと思っています。

行事の話もありましたが、栗林小学校は、保護者、お父さんたちも関わるし、皆さんが大分関わっている学校で、こういう学校で子どもたちが育てば、釜石が好きになって地域を大切にすだろうなと感じます。逆に、PTAの役員になった人だけが頑張っていて、地域に対して愛着がないという言い方はあれですが、地域に関わっていない学校で育ったところで、学力の話だけして、本当に釜石市の方針としてそれでいいのか疑問に思います。市として、どういう地域とか町を残すのか、そこも含めて地域の議論の場があればよかったなと思います。配慮が必要な人たちが必要にしている場所があると思います。

【高橋教育長】

栗林地域は、橋野地域もそうでしたが、地域が子どもたちに関わり、子どもたちを支えてくださったというのはその通りだと思っています。我々も当然、学校があればという思いもありま

す。当然学校があれば学校を中心として、保護者も関わりやすいし、そういう面では効果があるのはその通りだと思いますけども、学校がなくなっても、子どもたちが地域の中で生活するのは、その点は変わらないと思いますので、我々とすれば、学校がなくなったとしても、地域の中で子どもたちをどう育てていくか、どう子どもたちに地域が関わっていったらいいのか、そういうところは引き続き協力をお願いしたいという思いです。

#### 【参加者】

橋野は小中学校がなくなった経験があるのでよく分かっていますが、学校がなくなると関わりが全然変わるんですよ。教育長さんがおっしゃるとおり、学校は核なので地域の皆さんが関われる。ただ、地域で生活するだけで、学校に行って、学童で過ごして、夜寝に帰るだけとなった時に、関わるができるかというのはもうちょっと議論していただきたい。安易に、地域に住んでいればそれができるでしょという話ではない。もちろん地域側の問題でもあるし、両方あると思うけれども。これでいいと言った地域側も、今後地域の中で考えていく必要があるし、居場所がなくなったことに対して、市の責任としてコミュニティをどう支援していくのか、両面必要かなと思います。

#### 【高橋教育長】

その辺は必要だと思います。

今回計画(案)の策定を進める上で、保護者の方にもアンケートを実施したり、声を聞いたりしました。保護者の中には、いずれ子どもたちが社会の中に巣立っていく中で、ある程度の規模の中でいろんな経験とか、人間関係を積ませたい、ある程度の規模のある学校で教育を受けさせたいという思いがある方がいるのも事実ですので、保護者、地域の方々の思いをどうしていくのかというのは、大きな課題だと我々も認識しております。

#### 【教育委員会事務局】

橋野地区の皆様、これまでの経験等についてお話しただけませんかでしょうか。

#### 【参加者】

私が橋野に帰ってきてごく感動したことは、子どもたちの人数がすごく少なかったわけですが、うちの子どもが来た時に、すごく先生たちも喜んで、教育もマンツーマンで、地域のおじいちゃん、おばあちゃんのところに行って、歌をうたったり、お話をしたり、すごくいい地域の環境ができたこと。それから数年後に統合になって、その時に振り返るとあの時はすごくよかったな、先生たちがマンツーマンで色々教えてくれたり、そのことにより子どもたちの情緒的な面も育って、いろんな役割を預けられて、小中一貫でしたから中学生は小学生の子どもたちの面倒をみて、お兄ちゃんお姉ちゃんの姿も見て育った。

橋野はどうなっていくのかなという思いもありましたけれども、地域の郷土芸能、お祭りなん

かで鹿踊りをやってるが、小さい子どもから大人、おじいちゃん、おばあちゃん、皆が一体となって集まっているいろいろやるわけですよ。だからその学校に代わったのが、地域の祭り、郷土芸能の伝承でした。すごくよかったから私はメリットしかなかったなと思います。

例えば、栗林小学校が鵜住居小学校に行っても、小中一貫になることによって逆に繋がりが増えるのかなという期待感もあります。その辺は人それぞれの考えだと思いますけれども、経験者としてお話しさせていただきました。

#### 【参加者】

この間、旧橋野小中学校の校庭の草刈りをやりました。いつかのタイムカプセルが入っている、というのが出て来ました。知っている方は大勢いらっしゃったはずなんです。記念樹や石碑は草や木で全く見えないです。学校が遠くなったなと思いました。今度、橋野の小学生2人も鵜住居に行ってしまう。数がどうのこうのというのではなくて、子どもが遠くなったなあというか、未来が見えなくなったと思った。

例えば今度の世界遺産の10周年は大人たちだけで関わってますけど、郷土芸能など一生懸命練習していますが、今子どもたちが関わらないと学校が鵜住居になっただけで、ますます遠くなって薄れていくというのがあって、地域のお年寄りたちの気持ちにも配慮したこれからの施策が必要になってくるのだらうなと思います。子どもたちと交流と言っていること自体が地域としては何かが違うのではないかなと、タイムカプセルや記念樹を見て思いました。時間がかかることでしょうけど、何を検討したらいいか分かりませんが、考えなければただぼやけていくだけだなと思いました。

#### 【教育委員会事務局】

草刈をしていただいているということで、ありがとうございます。

昨年、振興協議会さんとお話ししまして、校舎内にある思い出の品と一緒に確認して、これからはずっと残していくものと廃棄するものと仕分けをしていただきました。

教育委員会でも、震災後、物置状態となっておりましたので、仕分けした後に昨年廃棄できるものは廃棄して片付けております。

ただ、まだ当時の卒業した児童生徒が作成した卒業記念品ですとか、物品がまだ残っておりますので、今後の移設等も含めて話を進めていきたいと考えております。

また、記念樹、記念碑というお話がございました。旧橋野小中学校の校舎、講堂につきましては、過去の地域会議におきましても解体すると約束していたがどうなんだというお話も頂戴しておりました。屯所の建設が終わったら解体に進んでいきたいと説明をしたと記憶しておりますので、令和8年度以降、市のほうで総合計画に上げながら、記念樹や記念碑の扱いも考えていければと考えております。

#### 【参加者】

教育としてやったはずのタイムカプセルや記念樹、記念碑に今まで関わってきた地域の人たち、私たちは十分反省すべき点だと考えています。なぜ草がボーボーになって全く見えなくなるまで放置していたのか、地域の人たちは十分反省すべきことだと思います。そこは、これからのところに活かしていただきたいという話です。片付けてほしいとか、何をどうしてほしいかというのではなく、気持ちのところをしっかりと後世に伝えていかないと。これからそこを頑張っていたいただきたいな、地域の人も頑張ろうぜ、そういうことです。

【参加者】

一つ一つの学校に歴史があり、賞状や子どもたちが作った作品があると思います。その保管場所、置き場所については考えていますでしょうか。

【教育委員会事務局】

移設場所はこれからの協議となりますが、ふれあいセンターに、壁に掛けるものであれば壁等に移設できると、普段利用されてる方も、何年か振りにふれあいセンターに来た方もご覧になれるのかなと思っておりますし、あと玄関のあたりも片付けて、現在校舎にある思い出の品等を移設できればいいのかなと考えているところです。

【参加者】

子どもたちのふれあいや交流と、統合準備委員会はどちらが先ですか。統合準備委員会でやりましょうとなってからふれあいを始めては遅いのではないですか。どちらが先ですか。

【高橋教育長】

内々ですが鵜住居小学校、栗林小学校の校長先生には、子どもたちの交流を計画的にやってほしいという話はしております。交流の部分は、学校を中心として計画してもらう形になると思います。

また、統合準備委員会は、地域から出していただいた要望を教育委員会と協議をしたり、また、鵜住居小学校と栗林小学校の中で協議をするという形になってくるかと思います。例えば、PTAの組織をどうしていったらいいのかとか、そういったところはそれぞれの準備委員会ですり合わせをしていくものと考えております。子どもたちの交流の部分については、学校が中心にと考えておりました。

【参加者】

これはいつ頃設置したいと考えていますか。

【教育委員会事務局】

この計画ができれば早々に設置したいなと考えております。

【参加者】

それは、市議会とかを通してということですか。

【教育委員会事務局】

市議会、教育委員会議でも説明させていただいて、これでいきたいと思いますとなった時点で進めさせていただきたいと思います。

【参加者】

今年度中ですか。

【教育委員会事務局】

今月中に市内9か所で説明会、意見交換会を実施しまして、8月中にパブリックコメントで、市民の皆様からご意見をいただきたいと思います。尚且つ、8月上旬に市議会議員全員協議会で計画の説明をしまして、それを踏まえて早ければ9月の教育委員会議での議決を経て、計画としては一旦成立ということで考えておりました。

【参加者】

そうなる1年以内という感じになってきますね。そこからいろいろ話をして、9年度を目指すという話ですね。あとは話し合いに任せて、という所も出てくるということですか。

【高橋教育長】

教育委員会としては、推進計画ですので、今までの学校やPTAの方との協議の中で9年度からとしてはおりますけれども、何か大きな問題が出てきて、どうしても進まないということが出てくれば、その時は協議をしながらやっていきたいと考えております。

【参加者】

進め方の所で、計画案の5ページにある(4)の注意事項の「ア 学校の統合に向けて合意を得られた学校から」とは、どこで誰が決めるのでしょうか。

【教育委員会事務局】

学校ごとに準備委員会を立ち上げ、そこと教育委員会との間の話し合いで、準備委員会で「これでいきましょう」となった時点で合意ということで考えておりました。

【参加者】

計画が通って、準備委員会ができて、委員会で合意されてから、となると結構時間がかかる

かもしれないですね。

【参加者】

子どもたちに、実際これからこうなっていきますよと伝えて、交流が始まる時も子どもたちも心の準備が必要だと思います。統合時期がここだと思っていたのに計画が延びて1年先となったりすると、子どもたちもすごく戸惑うのではないかと思いました。実際に話し合いをしてどうなっていくか分かりませんが、子どもたちに伝えた時点で変更はないようにしていただけると、子どもたちにとっていいのかなと思いました。

【教育委員会事務局】

貴重なご意見ありがとうございます。子どもたちの気持ちに揺さぶりの少ないような形にしていきたいと思います。

【参加者】

それに加えてぜひ、子どもたちからもこれについてどう思っているのか話し合える場を作ってほしい。勝手に大人が進めているのがすごく違和感があるというか、当事者として子どもたちがプロセスに関われると非常にいいのではないかと思いました。

【教育委員会事務局】

中学生に対しては、いろいろ説明やアンケートをしたり、小野市長の講話で考えや市の現状はこうだから計画を進めていることを伝えていますが、ぜひ、小学生に対しても伝える機会、意見をいただく機会を設けたいと思います。

【参加者】

橋野中学校が統合しました。父兄は毎晩のように話し合いに行ってましたが、意見を持っていても子どもだったので行かずに、という状況がずっと続いて、なんとなく統合するんだろうなと思いつつも分からないまま突然のように統合した時に、自分たちが行くのになんで大人が決めるんだろうという気持ちがすごく大きかったので、この計画は子どもたちにとっては突然なのかなと感じました。

【教育委員会事務局】

中学生のアンケート結果の中にも、中学校は今、野球やサッカーなどの団体スポーツがなかなか成立しにくい状況になっていて、合同チームでやっと中総体に臨んだりということで、統合すれば部活動の面や集団活動の面について、何か新しいことができそうだなという期待感がある一方で、友達関係が不安だとか、自分が今通ってる学校と違う場所に通うこと自体に不安を感じる声を拝見していたので、子どもたちの反応やどういった思いがあるのか丁寧に聞き

たいと思います。

【教育委員会事務局】

そろそろ時間も迫ってまいりましたが、最後にお話ししたいという方はいらっしゃいますか。

(発言なし)

【教育委員会事務局】

それでは、たくさんのご提言・ご質問、誠にありがとうございました。今後の計画策定の参考とさせていただきますと思います。今日ご発言できなかった方につきましては、先ほど部長からも申し上げましたが、パブリックコメントを実施いたしますので、ご意見等ございましたら、提出いただきたいと思います。

それでは、本日のまとめとしまして、教育長から一言お願いいたします。

【高橋教育長】

本日はありがとうございました。

改めて、皆さんのお話を聞いて、学校統合で終わりではなく、そのあとのことも大事にしていかなければならないと感じたところです。

それから、子どもたちの気持ちを大事にして欲しいというところも改めて感じましたので、今日いただいたご意見等を基にしながら、どうしていったらいいのかを考えていきたいと思えます。

それから、先ほどパブリックコメントについて話がありましたが、何かあれば直接、教育委員会にお電話でもいいですし、来ていただいてお話しして下さっても構いませんので、いろんな声を寄せていただければと思います。

今回のこの方針は「案」になりますので、これから説明会、パブリックコメント、議会での説明で様々なご意見をいただきながら、検討することになると考えております。

これは釜石にとって大事なことで、保護者の方、地域の方も含めて、当事者としてどう子どもたちのためにやっていくのがいいのか、もしかするとなかなかベストの答えというのは出てこないのかもしれませんが、何とかベターに、よりベストに近づくようなベターの答えというものがないのか一緒に考えていきたいと思っています。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

(6)閉会